

進めています！自己改革



私たちは、平成28年度から農家・組合員や地域の方々の豊かなくらしを支えるため、「**農業者の所得増大**」「**農業生産の拡大**」「**地域の活性化**」の3つの目標を掲げ、具体的な目標値や行動計画を設定して、自己改革に取り組んでいます。

本年度においても、組合員・地域住民の声に基づく自己改革を実践し、農業協同組合の使命である農業所得の向上や地域農業の振興、さらには、地域に根ざした協同組合として「食」と「農」を通じた地域貢献活動に取り組んでいます。

JAからつが取り組んでいる自己改革の一部を紹介します。

農業メインバンク機能強化

1 積極的な事業展開

【出向く活動と農業資金新規実行に伴う保証料助成】

高度化・多様化する担い手へのニーズに応えるため、営農・経済部門と信用部門とも部門間連携の更なる強化と、令和1年度より農業金融センターに農業融資相談員3名を配置し、佐賀信連・県域担い手サポートセンターとの連携による県域一体となった出向く活動を強化しておこなっています。訪問活動では、農業者の経営計画の聞き取りをおこない、農業生産の拡大にかかる農地取得・設備資金・農機具導入等の実現のために農業資金を提案し、借入される際に生じる保証機関に対する保証料の助成をおこないました。

＜訪問活動実績＞

年度	訪問先数	面談回数
令和3年度	1,212	1,953
令和4年度	1,018	1,787
令和5年度(12月末時)	886	1,584

＜JAバンク利子助成・補給実績＞

年度	件数	助成・補給金額
令和3年度	850	4,676万円
令和4年度	808	5,679万円
令和5年度(見込み額)	804	5,762万円

＜保証料助成実績＞

年度	件数	助成金額
令和3年度	130	498万円
令和4年度	171	1,216万円
令和5年度(12月末時)	85	350万円

※令和4年度は「燃料・肥料・飼料等価格高騰対策資金」の対応あり。

2 燃料・肥料・飼料等価格高騰および令和5年豪雨災害の影響を受けた生産者等への資金繰り支援

燃料・肥料・飼料等価格高騰により農業経営への影響をうけられている農業者を支援するため「燃料・肥料・飼料等価格高騰対策資金」を令和4年9月に新設して継続して融資対応をおこなっています。また、令和5年7月の豪雨災害により農業経営への影響をうけられている農業者に対しては「令和5年度豪雨災害対応資金」を令和5年10月に新設して融資対応をおこなっています。

＜融資等実績＞

令和4年9月1日～令和5年12月末

支援取り組み内容(令和5年12月末時)	件数	実行金額
燃料・肥料・飼料等価格高騰対策資金	55	6億6,337万円
令和5年度豪雨災害対応資金	7	1,500万円

3 農業経営基盤強化に向けた担い手コンサルティングの取組

農林中央金庫よりコンサルタントを招き、JA佐賀信連、JAからつと連携し、担い手農業の決算書を基に、財務分析・品目別収支分析・経営者ヒアリングを行うことで、課題を洗い出し、経営状況の見える化を行います。また、課題に対する解決策や今後の実践事項を提案することで、担い手の成長・所得向上を図っています。令和5年度は1件、5回面談し提案を行いました。